

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

平成 29 年度 第 16 回総会

平成 29 年 6 月 3 日(土)午後 1 時 30 分～3 時 30 分

(審議事項)

議案1	平成 28 年度事業報告および決算報告
事業報告書:	別紙1-1参照
収支計算書:	別紙1-2参照
監査報告:	別紙1-3参照

(提案事項)

提案1	平成 29 年度事業計画及び収支予算
事業計画:	別紙2-1参照
収支予算:	別紙2-2参照

別紙1－1 平成28年度事業報告書

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. まちの現状・計画及びまちづくり制度に関する情報収集、研究

①景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討

事業内容1： 継続的な景観勉強会及びウォッチングの実施（南、全員）

- ✓ 4月2日(土) 09:00～12:00 吉祥寺商業地区にて、第3回景観ウォッチングと勉強会を実施。現地視察を約2時間実施した後、消費者センター会議室において画像を用いた吉祥寺商業地域における以下の景観課題に関する勉強会を行った。
 - 1) まちの特徴となる、(a)玄関口の景観、(b)まちのランドマーク、(c)道路のアイストップの景観
 - 2) 景観悪化の問題を起こしやすい、(d)広告看板類の景観、(e)電線電柱類の景観、(f)駐車場、駐輪場の景観
 - 3) 町の快適さや心地よさを生み出す(g)車が通らない道の景観、(h)心地よい水と緑の景観、(i)気軽に休息できるベンチや椅子が整備された景観

- ✓ 10月15日(土) 9:00～12:30 吉祥寺南町及び東町3,4丁目において、第4回景観ウォッチングを実施。現地視察を約2時間半実施した後、本宿コミュニティセンターにおいて画像を用いた住宅地における以下の景観課題に関する勉強会を行った。
 - 1) 住宅地の街並み景観の現状と課題、今後の展開方向
 - 2) 住宅地の戸建て住宅とアパートにおける宅地外構(門、塀、玄関等)の景観の現状と課題、展開方向
 - 3) 住宅地の敷地内車庫の景観の現状と課題、展開方向
 - 4) 住宅地内の高木の保存とシンボルツリーの育成
 - 5) 住宅地内における(集合型貸出)駐車場の景観の現状と課題、展開方向
 - 6) 住宅地内における公園の景観の現状と課題
 - 7) (集合住宅等の)公開空地の景観の現状と課題
 - 8) 公共施設の景観の現状と課題
 - 9) 廃屋の景観問題

- ✓ 3月26日(土) 9:30～12:00 吉祥寺東町1,2丁目において、第5回景観ウォッチングを地元の方々とのタウンウォッチングを兼ねて実施。現地視察を約1時間半実施した後、東町コミュニティセンター(九浦の家)において画像を用いた住宅地における以下の住宅地の景観課題、環境問題に関する勉強会を行った。
 - 1) 宅地外構部(セットバック、門、塀、柵、生垣、沿道部緑化、車庫、)景観の変化と展望
 - 2) 建築の色彩問題
 - 3) 公園の魅力と役割
 - 4) 壁面緑化、人工地盤緑化に関する問題

事業内容2： 市による景観ガイドライン作成への協力（南、役員）

- ✓ 5月20日(金)18:30～20:30 市との景観ガイドライン内容、市民向けガイドライン作成・内容、意見交換会等打ち合わせ
- ✓ 7月3(日)、4日(月)に市が実施した景観ガイドライン意見交換会への協力
- ✓ 12月中旬 景観ガイドライン素案への意見書提出

事業内容3： 景観アワードの実施や景観ランキングの公表に向けた検討（新規、役員）

- ✓ 景観ガイドラインや景観ウォッチングへの対応のため、適切な企画ができず、今後の課題。

事業内容4： 景観を念頭に置いた道路植樹やシンボルツリーのあり方を検討（新規・総会提案）

- ✓ 景観としての機能と今後の維持管理を併せた道路植樹やシンボルツリーのあり方を考える提案が総会で成されたが適切な企画ができず、引き続き今後の課題。

事業内容5： 景観課題として、より安全なハモニカ横丁のあり方を検討（新規・総会提案）

- ✓ 景観面での考慮の一部として、災害に対する脆弱性を考慮しつつ、より安全なハモニカ横丁のあり方を考える提案が総会で成されたが適切な企画ができず、引き続き今後の課題。

②商業地活性化部会・UD 部会合同（継続）

事業内容： 要請に応じて検討・対応（河田、山田）

- ✓ 昨年度は具体的な要請なし。

2. まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

③まちづくり支援活動の実施（継続）

事業内容： コミュニティ協議会等と連携の深化を行い協力要請には適時対応（全員）

- ✓ 昨年度は、コミュニティ協議会からの具体的な要請はなかった（景観等は、該当部分に記載）。

§ 2. まちづくり事業

1. 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

④武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施（継続）

事業内容： 都市マスの推進状況をモニターし、適時ウェブサイトへ報告（役員）

- ✓ 昨年度は、まだ役員レベルでもウェブサイト利用を普及できる段階になく、今後の課題。

2. まちの利便性、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

⑤コミュニティ支援事業（継続中）

事業内容： コミセンやコミュニティからの要請に基づき検討・対応（全員）。

- ✓ 昨年度は、コミュニティ協議会からの具体的な要請はなかった（景観等は、該当部分に記載）。

⑥「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポート（村井、西村）。

- ✓ 平成 28 年度は、5 人の構成員による作業部会が 13 回開かれた（平成 28 年 4 月 25 日、5 月 26 日、6 月 27 日、9 月 16 日、9 月 29 日、10 月 29 日、11 月 4 日、11 月 18 日、12 月 1 日、12 月 20 日、平成 29 年 2 月 3 日、2 月 21 日、3 月 22 日）。この成果をもとに、まとめ方やレイアウト等について平成 29 年 2 月 9 日に全体会（編集会議）で説明を行い、まとめの方向性については、ほぼ定まってきたが、年度替わりで中断している。

⑦三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会へのサポート

事業内容： 「西久保一丁目緑をまもる地区まちづくり計画」の計画認定に向けた取り組み及び三鷹駅北口地区を舞台としたまちづくり準備会活動へのサポート（高田、塩澤）。

- ✓ 「西久保一丁目緑をまもるまちづくり協議会」（高田、塩澤がアドバイザーとして支援）による、「西久保一丁目緑をまもる地区まちづくり計画」は、2016 年 7 月 12 日に市へ計画認定の申請を行い、同 10 月 20 日に認定された。
- ✓ 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会の活動としては、市の「三鷹駅北口街づくりビジョン（案）」に関する意見交換会（2016 年 10 月 31 日、11 月 3 日）、説明会（2017 年 3 月 17 日）への参加、案に対する意見提出（2017 年 3 月 29 日）を行った。
- ✓ 準備会との関連では、2015 年より実施しているマルシェが、今年度からタワーズ管理組合や市の協力により、タワーズ公開空地にて開催するようになった。2017 年 2 月 19 日に「むさしのマルシェ実行委員会」という任意団体を立ち上げて、定期的に開催することになっている。

⑧市民が憩えるプレイス西通りをつくる会（プレイス西通りの会）への支援

事業内容： 武蔵境地区都市計画道路 3・4・27 号線の都市計画決定を変更し「公園と一体化したみち」を設け、歩行者の安全な移動と快適な憩いを楽しめる空間を形成（中島、田中、篠原）

- ✓ 以下の通り武蔵野プレイス・ワークラウンジにて定例会を 6 回実施。
平成 28 年 5 月 15 日（日）、7 月 31 日（日）、11 月 12 日（土）、12 月 10 日（土）、平成 29 年 1 月 14 日（土）、3 月 25 日（土）。
「プレイス西通りを、自然環境と景観に恵まれた、人に優しいみちとして、すみやかに整備しよう」という広報資料を作成し、市役所、コミセン、関係先、議員等に配布。①誰もが安心して移動できる歩道整備を早期に完成しよう、②歩行者と分離した、自転車の安全な走行路を整備しよう、③人と環境に優しいみちネットワークの出発点としよう、④美しい自然景観を保全しよう、⑤計画

変更により法的整備を完成しようという5つの課題・テーマを掲げ、今後、武蔵境地区を中心に整備への理解と参加を募る。

- ✓ 平成 28 年 4 月 20 日(水)におけるまちづくり推進課との市長宛「都市計画道路 3・4・27 号線事業の理念を明確にし、実施内容を市民とともに定め、計画の早期実現を求める提案書」に関する協議など、中島代表を中心とした市への要請や助言等、市に対する十分な猶予を与えたと判断し、平成 29 年 2 月 18 日(土)、市民会館にて議員懇談会を実施。上記広報資料をもとに、議員の理解と協力を要請。→全 26 議員に参加を要請し、武蔵境地区を中心に党派を超えて 9 名が参加(34%)。各議員からは会の活動趣旨や活動状況は了解した。現状からすると、市や観音院、市民等の関係者すべてに利益を与え、かつ制度上の問題はほぼ解決されているとのことなので、必要があれば議会での発言を含めて協力するむね激励された。

§ 3. まちづくりに関する教育事業

1. まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

⑨講習会、シンポジウム等の開催

事業内容： 景観勉強会及び景観ウォッチングを実施（南、全員）

- ✓ 前述の1. ①の通り実施。

2. まちづくりに関する講師派遣

⑩まちづくり出前講座の実施

事業内容： 地域団体やコミセン等の要請に応じて講師を派遣（役員・会員の専門性を活用）。

- ✓ 10 月 2 日(日)、けやきコミセンコミュニティルームにて、けやきコミセンのエレベーター設置検討会の資料作成等(村井、塩澤)。
- ✓ 平成 29 年 3 月 26 日(土) 9:30~12:00、前述のように、東町コミュニティセンター(九浦の家)の要請もあり、吉祥寺東町1、2丁目において、第 5 回景観ウォッチングを地元の方々とのタウンウォッチングを兼ねて実施。

3. まちづくりに関する研修

⑪まちづくり探訪

事業内容： 探訪の対象として銀座エリアを再検討。その他、希望や提案を募る（役員）。

- ✓ 銀座エリア訪問は実施できなかった。
- ✓ 11 月 24 日(木)、当会会員の三浦氏がバス研修(鴻巣のまちづくり等)を実施(村井)。

§ 4. まちづくりに関する普及啓発事業

1. ホームページの開設・運営

⑫ホームページの一層の拡充等（山田、篠原）

事業内容1： 市内のまちづくり状況を速報の形で会員等に連携できるようなシステムの検討

- ✓ 現在のウェブへの情報提供と管理が中心となり、まだ会員用ブログ等の追加設置などによる投稿システムの改善は課題。コミセンやまちづくり団体との連携については、武蔵野市役所及び市役所まちづくり推進課、三鷹駅北口地区まちづくり準備会、武蔵野の森を育てる会とのリンクを実施。

事業内容2： ウェブへのアップロード用マニュアルを完成させ役員向け研修を実施する

- ✓ マニュアルは完成したが、役員向けの研修会は未実施(今年度実施)。

事業内容3： ウェブサイトに過去のまちづくり会議の成果物や活動記録をアップロード

- ✓ 必要最低限は実施済みだが、新規の動きの方が早く、実施済み事業や実績記録のフォローアップなどは未実施。

事業内容4： 景観アワードやランキング情報のページを作成

- ✓ 景観事業の進捗に対応して検討する方針であったが、現状は未実施。

事業内容5： 情報のカテゴリ別の整理ができないかを検討

- ✓ 現状のシステムを対応することよりもコンテンツの整理を先に行うことが先決と判断。

事業内容6： 機関誌「まち」を引き継ぐ形で四季報を創設できないか検討

- ✓ 業務量や費用面から、印刷物は作成せず、当面はウェブサイトの整備に注力する。

事業内容7： ゲートページのイメージ写真（現状は仮の写真）の更新

- ✓ 未実施。引き続きデザインイメージを検討中。

2. 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

⑬機関誌「まち」の継続発行（山田、内門、篠原）

事業内容： ウェブサイト掲載情報を整理し、四季報などの形に「まち」を再編すべく検討

- ✓ 前述の通り、印刷物としての「まち」の発行は当面行わないものとした。

§ 5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワーク構築事業

⑭ 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり

事業内容： 役員が対応する各事業において、ネットワークづくりを実施する（役員）

- ✓ 各役員が対応している景観まちづくり事業やプレイス西通り事業、三鷹北口地区まちづくり準備会支援事業、クリーンセンター事業、外環事業等を通じて、市の必要部署や市長他とのネットワークづくりを進めた（役員）。

⑮ くらしフェスタむさしの 2016 への参加

事業内容： 引き続きくらしフェスタむさしの 2016 に参加する（内門、山田、篠原）。

- ✓ 「ペットとまちづくり～被災地の対策から考える～」をテーマに報告書を作成し、くらしフェスタむさしの 2016 にて展示、報告。全体テーマは「かわる時代、かわる暮らし」。
- ✓ 9月30日（金） 10:00～17:00 武蔵野プレイス 1階ギャラリー
- ✓ 10月1日（日） 10:00～15:00 武蔵野プレイス 1階ギャラリー

⑯ 「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加

事業内容： 「武蔵野の森を育てる会」との情報交換を行い、クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画を進める（田中、村井、南）。

- ✓ 武蔵野の森を育てる会の田中氏が会員となり、会の活動状況が直接伝わるようになった。クリーンセンターへの苗木供給については、まだ施工まで期間がある。

§ 6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

⑰ 「まちづくり会議・むさしの」の定例会・役員会等の実施

事業内容 1： 次の通り定例会を実施（内門）。

- ✓ 第1回定例会：7月15日（金） 19:00～21:30、消費生活センター講座室
「景観ガイドライン素案」や吉祥寺住宅地の景観ウォッチング実施、くらしフェスタ 2016 のテーマ、外環及び市公共施設等総合管理計画案などについて議論。
- ✓ 第2回定例会：9月9日（金） 19:00～21:30、消費生活センター講座室
勉強会：概説「地方創生」政策の講演及び質疑、講師：中村郁博氏（当会メンバー）
- ✓ 第3回定例会：11月11日（金） 19:00～21:30、消費生活センター講座室
まちづくり委員会の状況報告、景観ガイドラインへの対応、外環、当会の勉強会、ウェブサイトの拡充、くらしフェスタ 2016 の実施報告、三鷹駅北口の未来を考える意見交換会、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、武蔵野市市民活動促進推進計画の見直しなどについて議論。
- ✓ 第4回定例会：2017年1月20日（金） 19:00～21:30、消費生活センター講座室
景観（景観ガイドライン、景観ウォッチング）、外環、プレイス西通りの会の活動、当会の勉強会、ウェブサイトの今後、玉川上水・独歩の森、武蔵境駅北口の市有地活用、自転車活用推進法、無電柱化法の成立などについて議論。終了後に新年会実施。

- ✓ 第5回定例会:2017年3月10日(金) 19:00~21:30、消費生活センター講座室
吉祥寺東コミセンのウォッチング、武蔵野市の景観シンポジウム、武蔵野市まちづくり委員会の
市民委員公募、外環、プレイス西通りの会の報告などについて議論。
- ✓ 事業内容: 役員会を次の通り実施(篠原、内門)。

事業内容2: 役員会を必要に応じて招集(篠原、内門)。

- ✓ 2016年4月8日(金)19:00~20:30 消費生活センター講座室

⑩財政研究会に参加し財政白書の発刊を支援

事業内容: 要請があれば参加し協力する(篠原)。

- ✓ 今年度は要請なし。

以上

別紙1-2 平成28年度収支計算書

平成 28 年度収支計算書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

単位：円

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	3,000	
会費	54,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	84,000	
景観ウォッチング		1,660
(2)教育事業		
講師派遣	0	
(3)普及啓発事業		
ウェブサイト運用		57,755
その他収入		
寄付	1,630	
利息	7	
事務管理費		
消耗品		180
通信費		620
合計	142,637	60,215

収支差額	82,422
期首繰入(前期残高)	682,461
期末繰越(当期末残高)	764,883

別紙1-3 平成28年度監査報告書

「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の平成28年度の会計処理について、会計原則に基づいて精査しましたところ、全てが適正に処理されていることを確認しました。

平成29年 4月 25日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事 勝倉 啓仁



監事 清本 和子



別紙2-1 平成29年度事業計画

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

①景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討

事業内容1： 市外も対象とした景観ウォッチングと勉強会の継続的な実施（新規・継続／南、全員）

事業内容2： 武蔵野市景観ガイドラインの検証（新規／南、全員）

事業内容3： 5月21日（日）14:00～16:30 市主催の景観シンポジウムにパネリストとして参加・協力（新規／南、全員）

事業内容4： 住民向け景観ガイドラインに関する必要に応じた作成支援（継続／南、全員）

事業内容5： 武蔵野市の景観の要素として重要な古民家や庭が失われつつあるため、大正から昭和初期までの民家（公共施設）等のデータベース構築に向けて検討を始め、情報収集やウォッチングを行う（新規／山田、村井、全員）。

事業内容6： 昨年度からの課題の継続検討（景観アワードやランキング公表に関する仕組みや可能性の検討や道路植樹・シンボルツリーのあり方、ハモニカ横丁のあり方など（継続／全員）。

②商業地活性化部会・UD 部会合同

事業内容： 要請に応じて検討・対応（継続／河田、山田）

2. まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

③まちづくり支援活動の実施

事業内容： コミュニティ協議会等と連携の深化を行い協力要請には適時対応（継続／全員）

- ✓ 引き続き協力要請に対応する（全員）。
- ✓ けやきコミセンのエレベーター設置検討については、引き続き資料作成等に協力する（村井、塩澤）。

§ 2. まちづくり事業

1. 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

④武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施

事業内容： 都市マスの推進状況をモニターし、適時ウェブサイトへ報告（継続／役員、会員）

- ✓ 役員についてはウェブサイト研修を通じてウェブサイトへのアップロード報告が可能なようにする（役員、山田、篠原）。
- ✓ 会員については自由ブログの設置を検討する（役員、全員、山田、篠原）。

2. まちの利便性、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

⑤コミュニティ支援事業

事業内容： コミセンやコミュニティからの要請に基づき検討・対応する（継続／全員）。

⑥「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（継続／村井、西村）。

⑦三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容： 「三鷹駅北口街づくりビジョン」の策定に基づくまちづくりが具体的に実施されていく見通し。駅西側の民間大規模開発も着工される予定。こうした状況から、準備会の活動は今後より重要性を増すことから、引き続きサポートを行う（継続／高田、塩澤）。

⑧市民が憩えるプレイス西通りをつくる会（プレイス西通りの会）への支援

事業内容： 武蔵境地区の都市計画道路3・4・27号線の都市計画決定を変更し、「公園と一体化したみち」を設け、歩行者の安全な移動と快適な憩いを楽しむ空間を実現する（継続／中島、田中、篠原他）。

- ✓ 既実施事業内容： 武蔵境活性化委員会の高橋勇氏（館音院檀家衆のとりまとめ役）の協力を得ることが不可欠と判断し、同氏と4月16日に面談。同氏の話では、観音院としても今後弊を整備しプレイス側に正門を設置する方針があること、プレイス西通りの名前をどうするかなどを含めて検討していることから、両者が協調しながら整備を進める点で合意。

§ 3. まちづくりに関する教育事業

1. まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

⑨講習会、シンポジウム等の開催

事業内容： 景観勉強会及びウォッチングを実施（継続／南、役員、全員）

2. まちづくりに関する講師派遣

⑩まちづくり出前講座の実施

事業内容： 地域団体やコミセン等の要請に応じて、講師を派遣する（継続／役員、専門性に応じて会員にも協力をお願いする）。

3. まちづくりに関する研修

⑪まちづくり探訪

事業内容： まちづくり探訪の対象として銀座エリアを含めて検討。その他、会員からの希望や提案を募る（継続／南、篠原）。

§ 4. まちづくりに関する普及啓発事業

1. ホームページの開設・運営

⑫ホームページの一層の拡充等（継続／山田、篠原）

事業内容1： 市内のまちづくり状況を速報の形で会員等に連携できるようなシステムの検討

事業内容2： マニュアルに基づく役員向け研修を実施

事業内容3： 過去のまちづくり会議の成果物や活動記録を順次アップロード

事業内容4： 景観アワードやランキング情報のページを作成

✓ 景観事業の進捗に対応して検討。

事業内容5： ウェブコンテンツの体系的整理を検討・実施

事業内容6： ゲートページのイメージ写真（現状は仮の写真）の更新

§ 5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

⑬武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり

事業内容： 役員が対応する各事業において、ネットワークづくりを実施する（継続／役員）

⑭くらしフェスタむさしの2017への参加

事業内容： くらしフェスタむさしの2017に参加する。今年度は、武蔵野市が景観ガイドラインを策定したので、「景観ガイドラインのポイント（仮）」とする方針（継続／南、篠原、内門）。

⑮「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加

事業内容： 引き続き「武蔵野の森を育てる会」との情報交換を行い、クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画の実行に向けて準備を進める（継続／村井、南、田中）。

§ 6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

⑩「まちづくり会議・むさしの」の定例会・役員会等の実施

事業内容1： 次の通り定例会を実施する（継続／内門）。

- ✓ 7月14日(金)、消費生活センター講座室
- ✓ 9月8日(金)、同上
- ✓ 11月17日(金)、同上
- ✓ 2018年1月19日(金)、同上、終了後新年会実施
- ✓ 3月9日(金)、同上

事業内容2： 役員会を必要に応じて招集する（継続／篠原、内門）。

- ✓ 2017年4月14日(金)19:00～21:00 消費生活センター講座室(既実施分)

以上

別紙2-2 平成 29 年度予算

平成 29 年度収入見込み：

昨年度繰越額	764,883 円	
会費収入	54,000 円	会員数 27 人
活動による収入	30,000 円	外環、講師代他見通し
収入合計	848,883 円	

平成 29 年度支出見込み：

事業内容	金額	備考
1. まちづくりに関する調査研究事業		
景観研究、ウォッチング等	10,000 円	ヒアリング謝礼・資料代等
景観アワード、ランキング検討等	15,000 円	ウェブシステムシステム開発
商業活性化部会・UD部会	5,000 円	資料、交通費、コピー等
2. まちづくり事業		
都市マス推進状況モニタリング方策検討	15,000 円	ウェブシステム開発
コミュニティ支援事業	10,000 円	5,000 円×2 件を想定
三鷹駅北口地区まちづくり準備会、プレイス西通りの会、外環等に対応	15,000 円	活動費として 5,000 円×3 件想定
3. まちづくりに関する教育事業		
勉強会、ウォッチング	5,000 円	茶代等
まちなみ探訪	10,000 円	資料代・訪問先謝礼等
企画経費	5,000 円	資料収集等
4. まちづくりに関する普及啓発事業		
ホームページ、サーバー維持管理	60,000 円	サーバー年間維持管理費
5. 管理費	30,000 円	事務局運営費
支出合計	180,000 円	

収支差額（次期繰越額）： 668,883 円

参考：平成 29 年度会員名簿

1	代 表	篠原 二三夫	理事長
2	副代表	南 賢二	理事
3	〃	河田 弘昭	
4	〃	高田 典夫	理事
5	〃	村井 寿夫	
6	〃	山田 朗	理事
7	監 事	勝倉 啓仁	監事
8	〃	清本 和子	監事
9	事務局長	内門 秋弘	
10	会 員	塩澤 誠一郎	
11	〃	西村 まり	
12	〃	高田 昭彦	
13	〃	田辺 軌夫	
14	〃	深田 貴美子	
15	〃	川名 雄二	
16	〃	内山 智子	
17	〃	中島 敏	
18	〃	手塚 一郎	
19	〃	菊池 太郎	
20	〃	中村 郁博	
21	〃	竹山 悠紀子	
22	〃	山本 ひとみ	
23	〃	松下 玲子	
24	〃	青木 一郎	
25	〃	三浦 香澄	
26	〃	原 利子	
27	〃	田中 雅文	

